

環境を守る物語の力

～地域の伝承と開発～

地域が自立的かつ持続的な資源管理を行うためには、そこで暮らす人々の環境認識を再評価し、人々が自分たちの言葉で資源管理について語り、環境保全を担えるようになる必要がある。今回のセミナーでは、タイにおいて住民と共に地域に根差した「人々の物語」を通して環境保全の調査・環境教育事業を行ってきたメコン・ウォッチの木口由香氏とバンペン・チャイラック氏の講演やドキュメンタリー映像の上映を交えながら、地域の伝承物語が持つ可能性に関して議論する。



■講師紹介:木口 由香 氏

メコン・ウォッチ事務局長。東北タイのダムの反対運動に関心を持ったことがきっかけで、メコン・ウォッチに参加。1999年よりタイとラオスでメコン河流域の暮らしと開発の影響について調査をはじめ、関連する映像制作も行っている。

■講師紹介:バンペン・チャイラック 氏

東北タイ・サコンナコン県出身。調査研究に従事するNGOに勤務後、東北タイの市民グループで自然資源調査を行いながら、地元で有機農業による多品種の米作り、天然素材の石けんの生産などに携わっている。日本の環境問題の調査の経験もあり、ナショナル・ジオグラフィック・タイ版などでの記事執筆や東北タイの生態系、環境問題に関する著作も多数。

■日時:2017年10月13日(金)
18:00~20:30

■会場:神戸大学大学院
人間発達環境学研究科
D-Room (鶴甲第2キャンパス)



物語の舞台ノーンハーン湖
(タイ・ウドンタニ県)

■木口由香 (メコン・ウォッチ事務局長)
—東北タイの伝説と環境問題—

■バンペン・チャイラック (Eco-Culture Study Group)
—タイの民話「パーデーとナンアイ」を通じた環境保全—
……ドキュメンタリー映像『塩を作る村の暮らしと物語の伝えるもの』……

■加戸友佳子 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 博士課程)
原発と聖地—福井県大飯原発とニソの杜の事例から—

■紺屋あかり (お茶の水女子大学 プロジェクト教育研究院)
ジュゴンの伝説と保護活動—ミクロネシア・パラオの事例から—

■古川文美子 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究科)
伝承と防災—インドネシアと日本の事例から—

お問合せ先: 神戸大学人間発達環境学研究科 古川・加戸
mail: f.furukawa@people.kobe-u.ac.jp

助成: 神戸大学学術Weeks/三井物産環境基金